

令和4年1月21日

議会報告・意見交換会報告書

代表者 水 戸 保
記録者 古 澤 義 弘
班 員 狩 野 佳 和
" 武 田 正 二
" 三 宅 和 広

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和3年11月15日（月） 午後7時 ～ 午後8時40分	
2 会 場	市立天童南部公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	10名（男性 8名、女性 2名）	
5 報告内容	令和3年度の議会活動状況等	
6 意見・要望等	市 民	議 員
① 前回の報告は	市民 前回5月18日令和3年度の議会活動状況等開催の議会報告・意見交換会で要望した案件の回答、報告はどのようなになっているのか。	議員 前回の班と今回の班は変更になり、前回の班から引き継ぎを受けていないので分からない。執行部に確認をして11月末までに公民館に届ける。
② 議員定数・報酬	市民 ・定数を減らす理由は何故か。 報酬を上げたい理由は何故か。	議員 ・2年前の選挙で2か月前までは定数に満たず、1か月前に1人、選挙間近で1人増え選挙になった。その経過から、議長から定数削減と議員報酬の諮問を受け、検討委員会を立ち上げて12回検討してきた。 報酬は平成8年から26年間据え置きの状態である。民間と違い昇給も退職金もない。消費税の税率が上がっても上げてこなかった。 他の自治体議会も参考にしている。

	<ul style="list-style-type: none">・議員のなり手がいないから削減すると聞こえるがそうなのか。・議員を減らしてもできると思うが、議員の質、仕事量が同じなのか。 <p>・議員は市民の声を行政に反映するために公約をあげて選挙する。エネルギー的にもいろいろな事をしなければならない。なり手がいないから定数を削減では、今までは何だったのかと聞こえる。</p> <p>・それぞれの議員はどのような考えがあるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none">・単純に減らせば良いとは思っていない。・個人個人の考えがある。・報酬の減額はないと考える。 <p>議員</p> <ul style="list-style-type: none">・1人が落選と5人が落選の選挙では競争率が高い方が質の高い議員が集まる。それによって質の高い議会活動になりスパイラルアップすることができると思う。 <p>議員</p> <ul style="list-style-type: none">・2年前の選挙時、次の4年で2名削減、次の4年で2名削減すると選挙公報に書いた。理由は、以前の議員は地区の代表として地区のことだけやってきた議員が多かった。天童市は成熟した市なので、どこもインフラ整備が整ってきた。議員として地元地区内の課題解決をやるのは当然だが、市全体のレベルアップ、福祉の向上を目指すべきである。 <p>2年前の選挙での候補者が少なかった。世のため他人のため天童市のために働く意気込みがないのであれば、定数を減らし若干の報酬を上げ</p>
--	--	---

やる気のある人に出馬してもらえば市のためにもなるし、若者が出馬しやすい環境にもなるという考えである。

議員

・天童市全体のことを考えるという事も大事だが、地元の人賛同がないと票が入らない。すべてが地元のためというわけではないが、市のために働くのが一番で、定数は二の次だと思っていた。初挑戦時は5人多かったが、この頃の選挙は少ないので議員報酬のこともあるのかなと感じている。定数削減は選挙の時に言うのはカッコ良いが、それは言いたくない。天童市のために何人が必要なのかを考えており、常任委員会が3つあり各7人で運営している。地区のことは地区の議員が代弁者として言わなければならない。市全体として考えた中で、活発な意見を出し合いながら執行部とも喧々諤々な議論できる議員の質の向上である。一番は地区のために次は市全体のために、何人が良いのかである。報酬も削減分を増額するという考えではない。

市民に向け選挙のために定数を減らすという事は言いたくない。

議員

・議員になって2年経過した。立候補時には地元地域の課題解決を公約にした経過がある。常任委員会は7人であるが、6人の少数精鋭で削減もありなのかなと考える。議員にも成果が求められるので、各所で市民の

意見を聞き執行部に伝え一緒に解決策を練る事が一番の仕事である。常任委員会の定数を1減し合計3人削減が望ましいと考える。報酬については若干増額の考えである。

議員

・各議員がそれぞれの考えがある。検討委員会では市民が納得行くような方向性を示したい。

・報酬を上げる機会があったが、バブル期が過ぎて景気が悪くなりできなかった。10年ほど前にも議会改革で機運はあったがリーマンショックがきて現状維持になった。今回もコロナ禍で難しい時期だと思う。

定数は議会だけで決められるが、特別職報酬審議委員会で検討するので、きちんと算定、要綱を作らないと了承を得られない。報酬の増額は定期的に難しいと感じている。

議員

・報酬の積算の積み上げは我々がしなければならない。検討委員会でも削減した金額を他の議員で案分した方がよいという意見もあったが、それは違う事になった。

繰り返しになるが、定数と報酬は分離して進めていかなければならないとなった。

何時間の稼働というのは各々の議員で全て違う。夜中も災害で出かけるなければならないこともある。民間企業のように何時から何時の勤務ということが算定できない状況にある。

市民

・具体的な削減数、報酬額の数字がないと話ができない。現状の年額650万円を基準にどれくらい上げた方がいいのか過去の定数が何人で推移し何人を削減したのかを示さないと分からない。

報酬は25年間上げずに推移しているし、今後人事委員会の勧告もありコロナ禍で上げるのは良くないと思う。25年も上げなかった理由は分かるのか。

今回の皆さんの提案に賛成するが、時期と世情を考えると2年でできるのか。報酬は特別職報酬審議会で、定数は議会でそれぞれ単独で決めるの

でセットで決められるものでない。
段取りを踏み間違えると次世代に先送りになるので、具体的な数字がないので、納得できるような資料が欲しい。

市民

・定数を減らして報酬を上げるならば、市民が納得できる資料が欲しい。何も検討する資料がないのに、定数の削減とか報酬を上げるとか判断できない。

企業であれば時間で勤務、何日勤務、時間外勤務があるが、議員にはそれがない。

稼働している時間はどれくらいなのか、そこから調べていただき、この人数では無理だなと言う数字で出せば皆が納得する。

市民

・議員としてどれだけの時間が費やされているのか。現実として副業としたら大変だけど、立派な農業をされていて議員をしている方もいる。人生設計も最優先でしなければならないので、40、50代でどれくらい収入があれば良いのかという数字がないと理解できないと思う。

やはり、若い優秀な人材が多く出てきてくれることに期待する。そういう人が手を上げられる環境にするためには、どれくらいの所得を考えなければならいいのか、積算して出してもらう必要があるのではないか。

議員

・今の時代、若い人が立候補しないと活性化にならないと思う。国政選挙でも若い人が出ている状況を考え、女性の方にもどんどん出てきてほしい。

30、40代が立候補となると、年金は国民年金、健康保険は国民健康保険、妻の分も掛けなければならない。ましてや退職金もない。厚生年金が全くないのである。何期するのか分からないが、20年後の生活設計が立てられない。家を建てたいけれど金融機関は貸さないので無理。子どもが大学生になればできるかと言えば難しい。議員になれば高収入と言われるが、実際は残る金がない。

議員

・2年後には選挙があるので、1年前の来年の7・8月までは結論を出したいと考えている。

ちなみに今回の結論を出す時期はいつなのかな。

市民

・来年の7月までは実質8か月しかない。そこまでの道しるべはあるのか。

市民

・今度は詳細な資料を持参して市民に公表するという事なのかな。

市民

・南部地区の公民館では公表の機会を設定しないということか。

エビデンスはないが、定数削減と報酬の増額には賛成である。市の人口も若干減少しているし、議員の質の向上もあるし定数削減で報酬を上げるのは賛成である。ただし、県議会議員の政務活動費の事案もあるので、きちんと市民に提示できるように構築してほしい。

市民

・天童市がこれからも発展しバランスよく成長するために、ある程度の人数は必要なのではないか。市民とか各世帯の声、各職域の考え、様々ものを総合して、それを踏まえて施策を組む必要がある。今聞いていると定数減ありきの発言が多いように感じる。それでも、天童市の発展のためにマイナスにならないのであれば結構であるが、ある程度の議員の数

議員

・今回の中間報告を市民に説明し方向性を決めようとしている。最終的には市民に公表し広く意見を聞きたいと考えている。

議員

・パブリックコメントを考えている。

回答無し

回答無し

は必要である。

定数を削減した分を増額するようなことは良くない。若い人が出てくるような給料体系、手当を熟慮していただき、議員定数と分けて考えていただきたい。

市民

・天童市の市議として魅力あるものをアピールして報酬も魅力あれば、もっと若者が出てくると思う。自信を持って活動すれば定数もそのままが良い。是非とも頑張ってもらいたい。

市民

・報酬を上げるということは、市民が理解できる理論が重要と考える。いろいろなことを明確にして、魅力ある議員として活動すれば、市民に理解され給料も上げられる。

議員は約束したことを守ってほしい。執行部に伝えましたは分かるが、回答はどうだったのか、そこが知りたい。定数削減、報酬増額の件をパブリックコメントでなく、もう一度このような場所で公表をしていただきたい。

市民

・検討委員会の結果を来年の夏に委員会は終わるようだが、議員年金、議員の定年の課題を継続して検討してほしい。

新しい議員の方は、生活の不安があるとか、退職金がないので大変だという問題はあるが、高齢者の立候補も健康であれば問題ないが、ある程度の定年は必要だと思う。当選して高い報酬で、賛成、反対だけでは問題である。

回答無し

回答無し

回答無し

<p>③ 防犯カメラの設置を</p>	<p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩野議員の一般質問の防犯カメラの件、まちづくり懇談会でも市内に300台の設置を要望している。現在、市内20ヶ所で45台設置済みとのこと。まだまだ足りないので防犯カメラ5年間で300台設置してほしい。 	<p>議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内をきれいにするため、防犯上の抑止力になるために、公園内に設置を求めている。優先順位を付けて設置する回答なので、5年で300台の設置をできるかどうかは分からないが、年次計画をするように提言する。 <p>議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドライブレコーダーを付けての天童市見守りパートナーズという事業がある。現在158台の登録があるが、もっと広めて市民皆で守ろうということになれば良い。
<p>④ 除雪と排雪</p>	<p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪についてお願い。三日町は除雪すると道路側に雪が高く積んであり、ある程度の高さになると道路まで崩れ落ちて危険である。除雪と共に、何回かは排雪をお願いしたい。高齢者が間口の除雪をするのは一苦労である。間口を考慮した除雪はできないものか。 	<p>議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年末からの大雪で経験したことのない大雪になったが、今年も大雪でないかと言われている。昨年度の経験を踏まえ、建設課では、通学路と交差点を中心に、昼間も除雪をすることもあると臨機応変に除雪計画を見直ししている。 <p>(調査結果)</p> <p>今年度は、昨年度の大雪の経験を活かし、道路除雪計画の見直しを図り、パトロールを強化しながら、道路端や交差点などに雪が積み重なり、歩行者や車両通行時の見通しに影響が生じた場合など、必要に応じて部分的な幅出しや排雪を進めている。</p> <p>また、積雪の生活不安を和らげるため、道路除雪で間口に掃き寄せられた雪を片付ける間口除雪事業(12月1日号の市報に掲載)や、家周りの除排雪等について、天童市シルバ</p>

	<p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅西は間口に置かずに上手に除雪している。全ての所でできるわけではないが、そういう所もある。 	<p>一人材センターに委託し、料金の 8 割を市が負担し、利用者が 2 割の負担で利用することができる高齢者軽度生活支援事業などの事業を実施している。</p> <p>議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域によって違うが、雪を押し場所があるのとないのとでは全然違う。今回は雪を置ける場所を確保しながら検討しているので期待したい。
⑤ 放課後児童クラブ	<p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南部地区は子どもたちの数が増えており、3年前は第5・第6学童保育所もできたのは議員のおかげです。第4学童保育所は南部小の中庭にユニットハウスで5年前から運営している。リース期間は5年で終了だが、延長もやむを得ないと思っている。中庭に設置なので避難口が中庭にしかなく、避難しても校舎外に抜けることができない。仮に入り口で何か起きたときに逃げることができない。 南部の学童保育所の課題もあるので知っていただきたい。 	<p>議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この件に関しては執行部の方に伝える。
7 所 感	<p>議員定数・報酬については、市民の方々より多くのご意見をいただきました。また、この課題の他にも、地域の課題についても御意見をいただいた。しっかりと対処していきたい。</p>	